

2年連続・石原葉子&Nexus von Kyoto MasudaがドイツシェパードIPO日本一!



2015 WUSV世界選手権 日本代表選考競技会 (DSH IPO日本一決定戦)

4月11日(土)・12日(日) 岐阜県揖斐郡揖斐川町脛永(はぎなが) サッカーグラウンド
主催: SVJ WWW.WUSV.JP 後援: WUSVジャパンオフィス



2年連続トップの
石原葉子&Nexus



2015WUSV世界選手権 日本代表

台上⑨から、宮本好晴&Walter、田中佐知&Theo、石原葉子&Nexus、井浦智之&Astra Kikyo、増田朋之&Asrid、谷口明美&McCartney

SVJが主催し19頭が出場し正式な日本代表の座を争う!

9月23日から27日の5日間、今年はフィンランドのラティで開催される、ドイツシェパードIPO世界を決定する「第28回・WUSV世界選手権」に、日本代表として出場する5頭(5指導手)を選出するIPO日本一決定戦が、岐阜県揖斐川町の脛永(はぎなが)サッカーグラウンドにおいて開催された。本年は、昨年に引き続きSVJが4月11日・12日に岐阜の揖斐川で開催することを発表したら、急遽JSVも同じ4月11日・12日に千葉県野田市で、やはり代表選考会を開催することを発表、その後も両者の話し合いは行なわれず、同日に岐阜県揖斐川と千葉県野田市で「WUSV世界選手権・日本代表選考会」が行なわれるという異様な事態になった。SVJ主催の選考会には19頭、18指導手が、JSV主催の選考会には8頭、6指導手が出場してそれぞれ選考会を行なった。(JSVの選考会は、本紙が11日にJSV主催の選考会々場取材に行ったら、JSV山口会長より翌日のSVJ主催の選考会を取材するならば今日は取材をしないでくれと“取材拒否”されたのでJSV主催の選考会の模様は掲載しておりません。)

本年はSVJ主催の選考会には、WUSV中央委員でもありSV/WUSV審査員で、今年のWUSV世界選手権で服従審査員を担当するギュンター・ディーゲル(Günter Diegel) 審査員が服従・防衛を担当、来年の2016年・WUSV世界選手権で服従の審査を担当することが決定している益田晴夫審査員が追求を担当した。

昨年は選手として出場したWUSV益田晴夫審査員が審査を担当する追求は、長良川の広大な牧草地で午前6時30分から(印跡は1時間前の5時30分)、現地での抽選でト

ップバッテリーになった木川&Bankの追求競技から「2015WUSV世界選手権 日本代表選考競技会」の幕が切って落とされた。

最初のAグループでは(前日の公開練習の日に抽選でA~Eグループが決定。競技順番は現地でグループごとに抽選により競技の順番が決定)、前日に雨が降り、湿っていて追求にはベストと思われるコンディションのなか、静岡から出場の木川&Bankが昨年の雪辱を期するように途中物品を飛ばしたが86点のG、続くアマで山口から出場の宮本&Walterが昨年と同じ95点、昨年に引き続き連続代表入りを狙う堀内&Badurがまさかの14点減点の86点。この時点で今年は代表の座は少し遠のいたと思われる。Aグループの最後は福島から連続出場の樽川指導手が今年は自ら所有のLunaで89点。追求では昨年選考会をトップ通過した石原&Nexusが、殆どミスもなくほぼ完璧な99点。そして昨年も2位通過で追求の最高点を出した田中&Theoが昨年と同じく97点でV。まだ2才4ヶ月と今年の出場犬では最も若い初出場のAstra Kikyoを指導の井浦指導手が嬉しいV評価の96点を獲得する。昨年は96点のVだったが、今年は昨年より1点少ない谷口&Cannonが95点、豊田&Nazcaが94点、大畑&Willが93点、山口&Christenaが92点と90点以上が8頭だった。(昨年は32頭が出場し14頭が90点以上だった。)

追求は10時30分に終了。追求が終わった犬と指導手は27Km離れた揖斐川町サッカーグラウンドに移動して服従競技を行なう。

服従では90点以上が僅か3頭!

服従は予定通り4月11日(土) 午前11時30分から樽川&Luna、堀内&Baldur組から開始された。今年のWUSVでも服従の審査を担当するギュンター・ディーゲル審査員の担当ということもあり、今年の本番の審査を担当する審査から審査体験が出来る貴重な経験である。

大きな大会ではハードルが高いといわれているIPO服従のSG評価90点を獲得した

のは、午後12時45分からの石原&Nexusと午後2時30分から競技を行なった井浦&Astra Kikyoの2頭だけで、80点以上のG評価も田中&Theoが86点、佐伯&Guilletteは85点、アマの四家&Valada IIが83点、谷口&Cannonも83点、宮本&Walterが81点、山口&Christenaが80点と80点以上も8頭だけだった。



①②ほぼ満点の99点を獲得した石原&Nexusの追求 ③④90点だった石原&Nexusの服従 ⑤96点のV評価だった井浦&Astraの追求 ⑥宮本&Walterの95点だった追求 ⑦服従では最高点だった井浦&Astra ⑧服従で逆転を狙った田中&Theo ⑨85点と今一つだった増田Asridの追求 ⑩追求の審査は増田晴夫氏が担当(副審査は南條牧子審査員) ⑪宮本&Walterの服従は81点だった。⑫服従はギュンター・ディーゲル審査員が担当(副審査は南條牧子審査員)
※追求・服従の写真は光枝太一氏にご提供いただきました。ありがとうございました。

DSH IPO日本一決定戦 (WUSV世界選手権日本代表選考会) 成績						
	IPO3	A	B	C	TSB	Total
1	Nexus von Kyoto Masuda 所: 石原 葉子 指: 同 左	99	90	93	a	282
		V	SG	SG		SG
2	Theo von Kyoto Masuda 所: 田中 佐知 指: 同 左	97	86	94	a	277
		V	G	SG		SG
3	Astra Kikyo von Kariyushi Chokou 所: 井浦 智之 指: 同 左	96	90	90	a	276
		V	SG	SG		SG
4	Walter von Kyoto Masuda 所: 宮本 好晴 指: 同 左	95	81	92	a	268
		SG	G	SG		G
5	Asrid vom Haus M.1 所: 増田 朋之 指: 同 左	85	90	92	a	267
		G	SG	SG		G
6	McCartney JP'S Cannon 所: 谷口 明美 指: 同 左	95	83	88	a	266
		SG	G	G		G
7	Christina of S.Wistaria 所: 小篠 正幸 指: 山口 郁夫	92	80	85	a	257
		SG	G	G		G
8	Valada II von der Verstdndheim 所: 四家 聖香 指: 同 左	81	83	90	a	254
		G	G	SG		G
9	Decade-Luna of Sacred Wolf 所: 樽川 麻衣 指: 同 左	89	73	78	a	240
		G	B	B		G
10	Baldur vom ZACC 所: 江口タミ子 指: 堀内 壽子	86	70	81	a	237
		G	B	G		B
--	Eternal-Bank of Sacred Wolf 所: 船津 雅幸 指: 木川 武光	86	64	74	a	---
		G	M	B		M
--	Nazca von Kyoto Masuda 所: 豊田 桂子 指: 同 左	94	51	74	a	---
		SG	M	B		M
--	Guilette of Thistle Farm 所: 松本 和幸 指: 佐伯亜矢乃	60	85	71	a	---
		M	G	B		M
--	Xelma von der Verstandheim 所: 堀内 壽子 指: 遠田 瑠美	86	47	80	a	---
		G	M	G		M
--	Decade-Laina of Sacred Wolf 所: 大塚 保則 指: 同 左	8	75	85	a	---
		M	B	G		M
--	Mani von Kyoto Masuda 所: 須藤 保成 指: 同 左	46	45	77	vh	---
		M	M	B		M
--	Eternal-Dione of Sacred Wolf 所: 木川 武光 指: 笹岡 朋恵	20	72	74	vh	---
		M	B	B		M
--	Gerda of Red Line 所: 前島 広美 指: 豊田 桂子	85	70	Abbr	ng	---
		G	B			M
--	Will vom Haus Shiho 所: 大畑恵美子 指: 大畑 周永	93	Disq	---	---	---
		SG				M

防衛では田中&Theoが94点の最高点で2年連続で2位に!

少し曇り空で競技会日和のコンディションのなか、防衛で高得点を出せば代表入りも夢ではないという状況のなか、予定通り午前9時より追求と服従の合計点の少ない順番で競技が開始された。審査はやはり前日・服従を担当したSV/WUSV審査員のギンター・ディーゲル氏である。前半に登場する犬は代表入りの可能性はないものの、それぞれ力強い防衛を見せる。

最初のグループでトップバッターで初出場の大塚&Lainaが追求の納得いかなかった競技を挽回するようにGの85点、4番目に登場した遠田&Xelmaが80点。次のグループで9番目に登場した堀内&Baldurも意地を見せ81点。10分の休憩を挟み11時20分から残り上位8頭の出場である。1点差で代表の座を逃すかも知れない緊迫した状況のなか、11番目に登場した神奈川から出場アマの女性指導手の四家&Valada IIが息の合った防衛を見せて初のSG評価の90点だが合計254点、次の山口&Christinaは今一つ納得のいかない85点で合計257点、残念ながら代表には届かないか?そしていよいよ残り6頭が登場、13番目に登場の宮本&Walterが力強い防衛で92点、合計268点でトップに立つ。そして谷口&McCartneyは88点で266点で代表には微妙なところである。そして田中&Theoが、力強い防衛で最高点の94点を叩き出し277点で一躍トップに立つ。そしてシーズンの増田&Asridを除いて最後の2頭が休憩を挟んで12時30分から井浦&Astraが90点で276点、追求99点+服従90点で189点で今年もオオトリの石原&Nexusが、禁足咆哮で二声符になった以外は力強い防衛で93点、計282点で見事二年連続優勝し日本代表入りとなった。

少し時間を置いて、シーズンの増田&Asridの服従と防衛が行なわれた。追求で85点を獲得しており、服従・防衛で高得点を上げれば十分代表を狙える。服従では大きなミスもなく90点で合計275点。残りは防衛だ、防衛もそれほど大きなミスはなく力強く92点で合計267点で見事に5位に入りギリギリで代表入りを決めた。

優勝の石原&Nexusを除く2位以下は史上希に見る大接戦となった今年の選考会であったが、WUSV日本代表は1・石原、2・田中、3・井浦、4・宮本、5・増田、補欠・谷口となり、「2015 WUSV世界選手権 日本代表選考競技会」を締めくくった。



①石原&Nexus ②田中&Theo ③井浦&Astra ④宮本&Walter ⑤増田&Asridの迫力満点だった防衛 ⑥今年の選考会を支えた審査員と防衛スタッフの皆さん

「チームワークの勝利」 石原 葉子

2015 WUSV 日本代表選考競技会におきまして、昨年に続きネクサスが1位で予選を通過することが出来、大変嬉しく思っております。しかし、それにも増して、いつも練習を共にするクラブの仲間が3位と4位で代表入りし、6位で補欠に入るという活躍と健闘を見せてくれたことが、何にも代え難い喜びです。

アマ、プロを問わず、『バカ』が付くほど訓練、シェパード好きが集まった当クラブ。悪天候と親戚の不幸以外(?)は年中無休の訓練ペース。とにかく、何も知らない人を見ると笑っちゃうくらい、訓練に向かう姿勢が一生懸命・真剣なメンバーたち。そして、大切な犬たちを信頼して任せられる防衛ヘルパーの存在。決して自分一人だけでは完成することの出来ないIPO競技。お互いに良い刺激を与え合える素敵な仲間恵まれたお陰で、今回の結果があるのではないかと思います。

クラブの皆さん、これからも大いに訓練を楽しんでいきましょう。

最後になりましたが、完璧な準備、会場設営、運営を行ってくださいました大会関係者の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

